

(1) 技術・情報交流

a. シンポジウム

「30周年記念事業」

日時・場所	内容等
<p>H30.10.18(木) 13:00～19:40 場所：ホテル日航熊本 参加者数：203名</p>	<p>○講演 「RISTこれまでの歩み」 RIST元会長、熊本大学 名誉教授 村山 伸樹 氏</p> <p>○基調講演 「世界売上高シェアNo.1のイメージセンサー開発ストーリーとスマートファクトリー」 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 前副社長 久留巢 敏郎 氏</p> <p>○招待講演 1)「製造業ICT活用の問題点と解決策」 平田機工株式会社 グローバル事業本部 IoTソリューショングループ 次長 神田橋 嗣充 氏 2)「激変する高度情報社会への創造的復興戦略」 金剛株式会社 代表取締役社長 田中 稔彦 氏 3)「半導体産業と東京エレクトロン九州の歩み、そしてこれから」 東京エレクトロン九州株式会社 会長 鮎本 正巳 氏 4)「スマートファクトリーと産学連携リカレント教育」 enPiT-everi（北九州市立大学、九州工業大学、熊本大学、宮崎大学、 広島市立大学）連携教育プログラム 北九州市立大学 教授 中武 繁寿 氏</p>

b. 月例フォーラム

回	日時・場所	講師・演題
第327回	<p>H30. 4. 27(金) 16:00～17:45 場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 参加者数：44名</p>	<p>(1) 技術検討会・事業化PJ 事業報告 ・技術検討会、事業化PJ終了報告 「ゲームニクス」：世話役 熊本県産業技術センター 佐藤 達哉 氏 「植物工場による薬用植物栽培」：熊本高等専門学校 教授 小山 善文 氏 ・新規技術検討会紹介 「漢詩作成のためのAI 構築」 ：世話役 RIST元会長・熊本大学名誉教授 柏木 潤 氏</p> <p>(2) 新規企業会員紹介 ・株式会社K I S</p> <p>(3) 助成金・施策説明</p>
第328回	<p>H30. 5. 17(木) 15:00～18:00 場所：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 参加者数：85名</p>	<p>テーマ：「全国初、普及型EVバスの実証試験と産学官民の取組み」</p> <p>1) 「熊本から始まる電気バスが未来をひらく」 熊本学園大学 シニア客員教授 坂本 正 氏</p> <p>2) 「熊本市のEVバスの取組みについて」 熊本市環境局環境推進部 環境政策課長 榎田 一郎 氏</p> <p>3) 「環境省EVバスプロジェクトの近況について（よかエコバス号の実証試験等）」 熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授 松田 俊郎 氏</p> <p>4) 「イズミ車体製作所のEVバス事業化の取組みについて」 イズミ車体製作所常務取締役 宮崎 信也 氏</p> <p>5) 「EVバス専用計測システムの開発について」 九州計測器（株）取締役 開発本部部長 岩倉 宗弘 氏</p> <p>6) 「EVバス向け充電マネジメントについて」 九電テクノシステムズ(株) 理事 鶴岡 良一 氏</p> <p>7) 「EV路線バスによる自然エネルギー拡大の可能性」 自然電力（株）マネージャー 川島 悟一 氏</p> <p>8) 「電気バスへの充電スケジューリングと配電システムへの影響」 熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授 宮内 肇 氏</p>

回	日時・場所	講師・演題
第329回	H30. 6. 21(木) 14:00～17:30 場所：ホテルメルパルク熊本 参加者数：55名	<p>テーマ：「IoT、FPGA、AIエッジコンピューティング」</p> <p>1) 「IoTを支えるエッジコンピューティングのプラットフォーム化推進」 株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター (DSPC) 企画部 部長 エッジプラットフォームコンソーシアム 事務局長 村方 正美 氏</p> <p>2) 「クラウドを加速するFPGAの現状と課題」 九州工業大学大学院 情報工学研究院 助教 趙 謙 氏</p> <p>3) 「FPGAのトレンドとAIエッジコンピューティング」 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 飯田 全広 氏</p>
第330回	H30. 7. 19(木) 15:00～18:00 場所：SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto 参加者数：42名	<p>テーマ：「医工連携、IoMT、AI」</p> <p>第1部 IoMT、AI関連の取組み紹介</p> <p>1) 「近未来都市 深セン視察報告 ～今、中国で何が起きているのか～」 株式会社ナレッジコミュニケーション 代表取締役CEO 奥沢 明 氏</p> <p>2) 「製造業必見！AIを活用した出荷検品業務の効率化の取組み事例」 株式会社ワイズ・リーディング 事業開発本部 上席研究員 古田 貴彦 氏</p> <p>第2部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション ものづくり企業の抱える課題とニーズ、課題解決に向けたディスカッション</p> <p>第3部 情報交換会</p>
第331回	H30. 8. 8(木) 10:20～17:55 場所：熊本大学 (工学部 百周年記念館) 参加者数：305名	<p>「組込みシステム関連産業概論」</p> <p>① 「製造業におけるIoT活用に向けた取組み」 富士電機株式会社技術開発本部イノベーション創出センターデジタルプラットフォーム開発室 組込システム研究部 グループマネージャー 八幡 貴志氏</p> <p>② 「CASEで広がるクルマの機能と組み込みシステム開発」 トヨタ自動車株式会社電子プラットフォーム開発部 主査 本田 洋氏</p> <p>③ 「半導体製造装置の制御ソフトウェア開発」 東京エレクトロン九州株式会社 開発本部ソフト技術部 荒木 真一郎氏</p> <p>④ 「IoT(Internet of Things) の最新動向と技術課題、ビジネス課題」 パナソニック株式会社イノベーション戦略室戦略企画部 理事 梶本 一夫氏</p>
第332回	H30. 9. 21(金) 14:00～17:30 場所：KKRホテル熊本 参加者数：71名	<p>テーマ：「防災・減災、IoT/ICT」</p> <p>○基 調 講 演 「記者が見たH24年白川水害」 熊本日日新聞社論説委員 松岡 茂 氏 H24年7月の九州北部豪雨による熊本水害で何が起きて、何が課題だったのか？当時熊本日日新聞社熊本総局長として報道のまとめをされていた松岡氏に、当時を振り返って、「記者たちと一緒に見たこと、考えたこと」を包括的に話していただいた。</p> <p>○招 待 講 演 1 (白川防災の現状について)</p> <p>1) 「白川における河川整備と防災減災の取り組みについて」 国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所調査第一課長 末吉 仙英 氏 白川の防災の現状について、河川の基盤整備の立場からお話しいただいた。</p> <p>2) 「2012年7月九州北部豪雨における白川水害から得られた教訓について」 熊本大学大学院先端科学研究部社会基盤環境部門環境保全分野 大本 照憲 教授 白川水害の教訓について、河川環境や治水安全度などの面から話していただいた。</p> <p>○招 待 講 演 2 (IoT/ICTを活用した防災対策について)</p> <p>3) 「ICTを活用した防災・減災ソリューション」 西日本電信電話株式会社熊本支店 スマートひかりタウン推進室 室長 谷口 英樹 氏 ICTによる防災・減災ソリューションについて話していただいた。</p> <p>4) 「地域と連携した防災IoT開発事例の紹介」 熊本高等専門学校建設社会デザイン工学科 入江 博樹 教授 防災・減災を目的とした IoT環境センサーシステム等の開発に関するお話をうかがった。</p>
第333回	H30. 10. 18(木) 13:00～17:15 場所：ホテル日航熊本 参加者数：203名	<RIST 30周年記念事業>

回	日時・場所	講師・演題
第334回	<p>H30.11.22(木) 13:30～17:30 場所：ザ・ニューホテル熊本 参加者数：45名</p>	<p>テーマ：「農商工連携」</p> <p>1) 熊本県農業研究センターからのご講演 ○熊本県農業研究センターにおける施設整備による研究機能強化について 熊本県農業研究センター 企画調整部企画情報課 課長 渡辺 陽司 氏 ○草地畜産研究所における研究の取組みについて 熊本県農業研究センター 草地畜産研究所 研究参事 森 将臣 氏 ○熊本地震により不陸が発生した水田における暗渠排水への影響について 熊本県農業研究センター 生産環境研究所施設経営研究室 研究参事 大見 直子 氏</p> <p>2) 産学からの農商工連携関係の研究/事業内容のご講演 ○生活習慣病の早期検出および予防を目的としたAGEsの測定 東海大学農学部 バイオサイエンス学科 食品生体調節学研究室 教授 永井 竜児 氏 ○植物需要(食・環境・医薬)に対応する農業気象学の役割 株式会社アグリライト研究所 代表取締役 園山 芳充 氏</p> <p>3) 小野副知事 ご挨拶 熊本県副知事 小野 泰輔 様</p> <p>4) 産学からの農商工連携関係の研究/事業内容のご講演(Ⅱ) ○カイコ・シルクに関する最近の話題 熊本大学先端科学研究部 あつまる新シルク蚕業開発共同研究分野 特任准教授 太田 広人 氏 ○パルスパワー技術を用いた農業・水産系への応用研究 熊本大学・パルスパワー科学研究所 准教授 王 斗艶 氏 ○パルスパワーを用いる革新的食品低温プロセス～殺菌、抽出を中心に～ 熊本大学・パルスパワー科学研究所 教授 勝木 淳 氏</p>
第335回	<p>H30.12.12(水) 14:30～17:20 場所：ホテルメルパルク熊本 参加者数：30名</p>	<p>テーマ：「IoT時代のシステムエンジニアリング ～FRAMとSTAMP、複雑化するシステムの安全性保証～」</p> <p>1) 情報システムの最近の動向 北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授 落水 浩一郎 氏 システムオペシステムズ、AI、IoTなどの最近の情報システムの動向と解決すべき問題点などについて解説し、次にシステムの安全性保証のための方法論のうちFRAMについて解説した。</p> <p>2) 「システム理論に基づくモデリングSTAMPの概要と動向」 長崎県立大学 教授 日下部 茂 氏 マサチューセッツ工科大学のNancy Leveson教授が提唱したSTAMP (Systems-Theoretic Accident Model and Processes) は欧米を中心に産業界で注目されている。 大規模・複雑化が進み、相互作用も多様化したシステムに対しても有効で、非技術的な要因も考慮できる包括的な事故防止アプローチであるSTAMPとその代表的な解析技法STPAを中心に、概要と動向を紹介した。</p>
第336回	<p>H31.1.17(木) 14:00～17:00 場所：TKPガーデンシティ熊本 参加者数：33名</p>	<p>[シーズ・活用事例報告会] テーマ：「サイバーセキュリティ」</p> <p>1) 「熊本大学での情報セキュリティに関する取り組み」 熊本大学 総合情報統括センター教授(センター長) 杉谷 賢一 氏</p> <p>2) 「熊本大学CSIRT活動について」 熊本大学 総合情報統括センター教授 武蔵 泰雄 氏</p> <p>3) 「熊本高専における情報セキュリティの現状と課題」 熊本高等専門学校 ICT活用学習支援センター教授 小島 俊輔 氏</p> <p>4) 「Man-At-The-End攻撃に対するソフトウェアの保護 - コード難読化をめぐる技術の動向 -」 熊本高等専門学校 人間情報システム工学科准教授 神崎 雄一郎 氏</p> <p>5) 「構造計画研究所のサイバー攻撃対策への取り組み - 組織内部対策とWeb媒介型攻撃対策 -」 構造計画研究所 / (国研)情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 協力研究員 篤田 一郎 氏</p>

c. R I S T 共催事業

熊志会と若手研究者交流会

日時・場所	内容等
H30.7.19(木) 15:00~18:00 SOCKET IoMT/AI Lab Kumamoto	第1部 IoMT、AI関連の取組み紹介 1) 「近未来都市 深セン視察報告 ~今、中国で何が起きているのか~」 株式会社ナレッジコミュニケーション 代表取締役CEO 奥沢 明 氏 2) 「製造業必見! AIを活用した出荷検品業務の効率化の取組み事例」 株式会社ワイズ・リーディング 事業開発本部 上席研究員 古田 貴彦 氏 第2部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション ものづくり企業の抱える課題とニーズ、課題解決に向けたディスカッション 第3部 情報交換会

熊本大学・崇城大学特別講義「組込みシステム関連産業概論」

日時・場所	内容等
※セミコンIT産業部会（熊本県産業振興協議会）との共催開催 H30. 8. 8(木) 10:20~17:55 場所：熊本大学 (工学部 百周年記念館)	「組込みシステム関連産業概論」 ① 「製造業におけるIoT活用に向けた取組み」 富士電機㈱技術開発本部イノベーション創出センターデジタルプラットフォーム開発室 組込システム研究部 グループマネージャー 八幡 貴志氏 ② 「CASEで広がるクルマの機能と組み込みシステム開発」 トヨタ自動車㈱電子プラットフォーム開発部 主査 本田 洋氏 ③ 「半導体製造装置の制御ソフトウェア開発」 東京エレクトロン九州株式会社 開発本部ソフト技術部 荒木 真一郎氏 ④ 「IoT(Internet of Things) の最新動向と技術課題、ビジネス課題」 パナソニック株式会社イノベーション戦略室戦略企画部 理事 梶本 一夫氏